

第4章 医療の状況

1. 医療施設

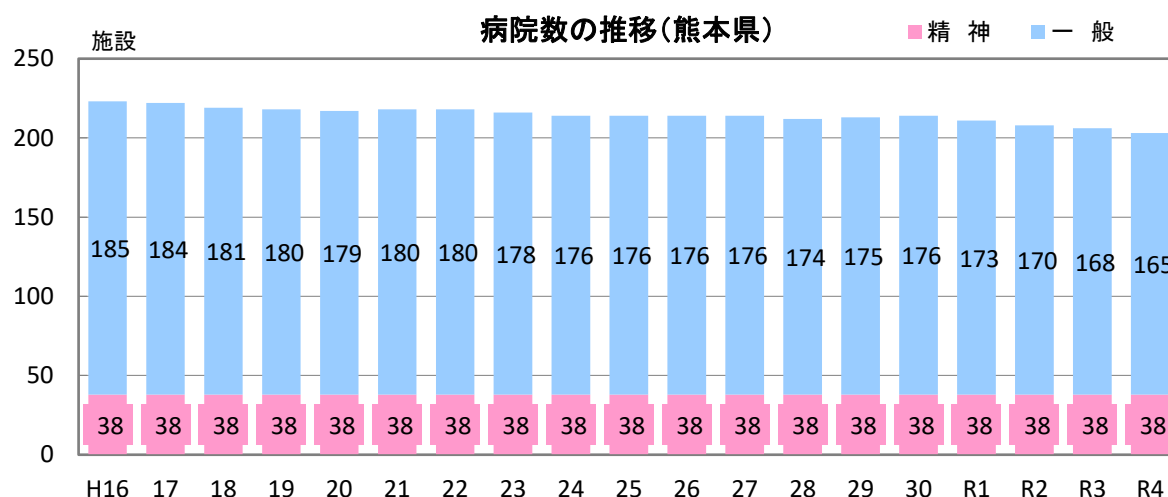
(1) 病院及び歯科診療所の施設数は減少、一般診療所の施設数は増加

令和4年10月1日現在における熊本県内の医療施設数総数は、2,516施設(ただし、「休止・1年以上休診中」の施設を除く)で前年から1施設減少した。

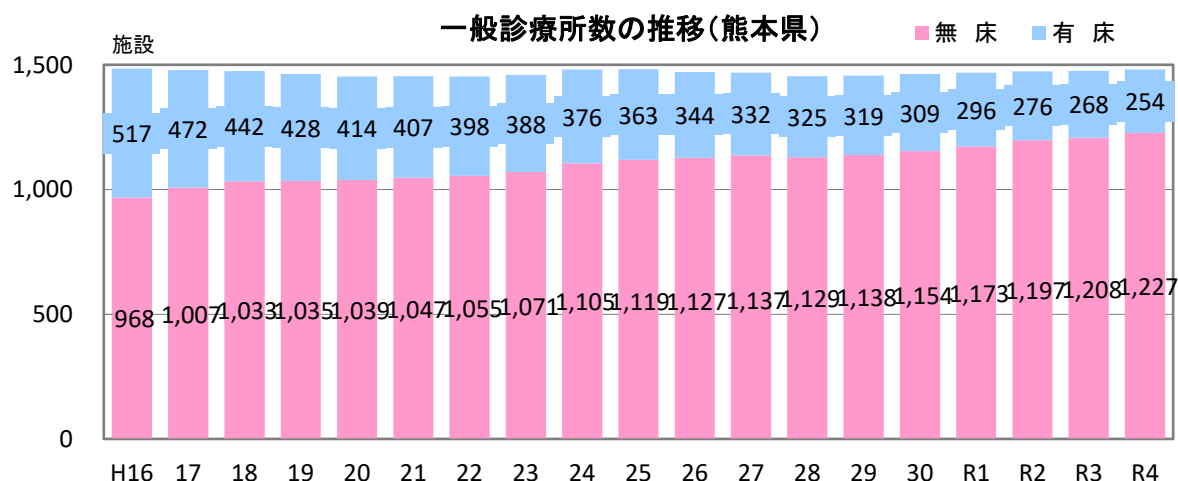
病院は203施設で、前年から3施設の減少。一般診療所は1,481施設で、前年より5施設増加している。その中で有床診療所(254施設)は年々減少する一方、無床診療所(1,227施設)は増加傾向であり、今回は19施設の増加となった。歯科診療所は832施設で、前年より3施設の減であった。

人口10万当たりの病院数と一般診療所数は全国より多いが、歯科診療所数は全国より少ない。

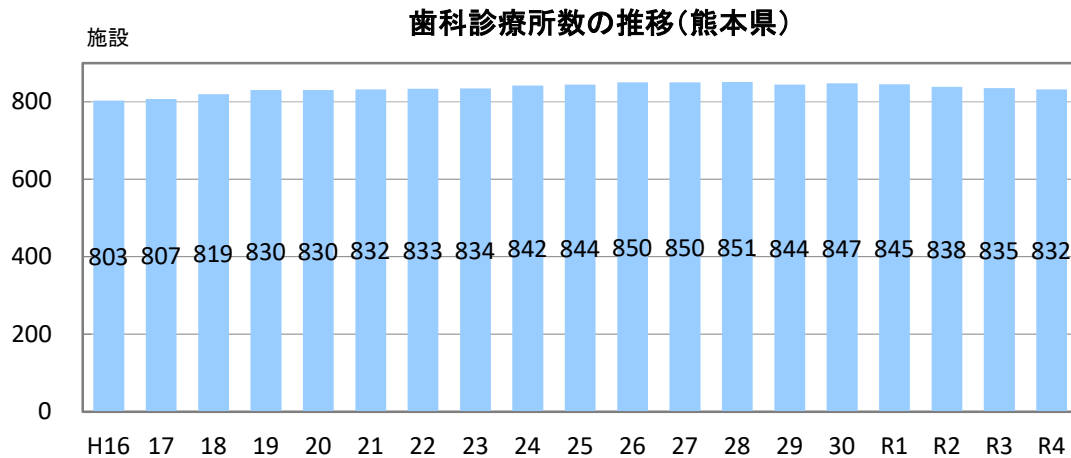
開設者別にみた施設数では、病院は「医療法人」が155施設(病院数の76.4%)と最も多く、次いで「公的機関」が22施設(10.8%)である。一般診療所は、「医療法人」が797施設(一般診療所数の53.8%)と最も多く、次いで「個人」が384施設(25.9%)となっている。歯科診療所は、「個人」が593施設(歯科診療所数の68.9%)と最も多く、次いで「医療法人」が255施設(30.6%)となっている。



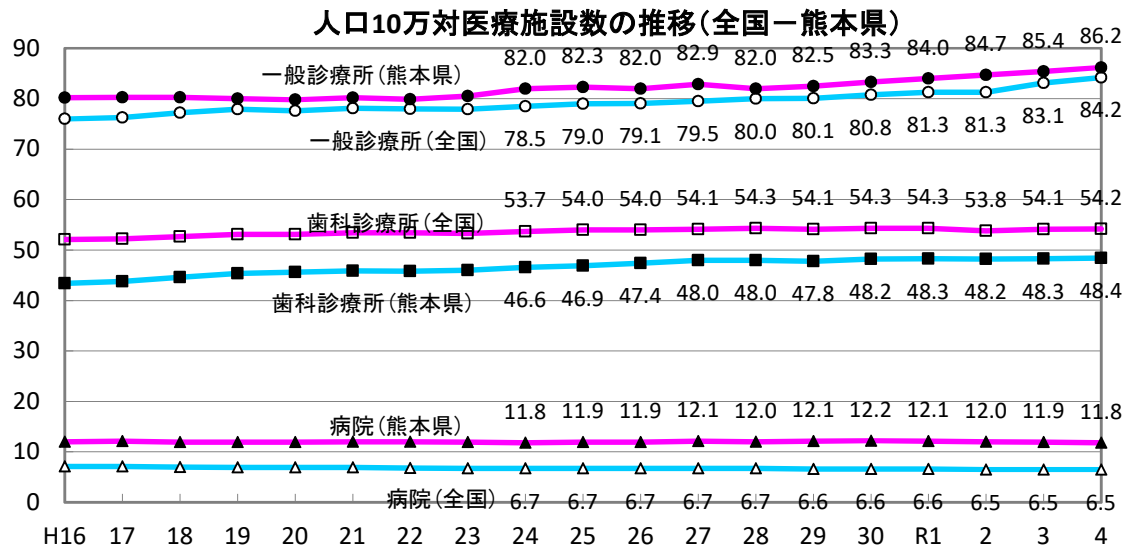
資料) 厚生労働省「医療施設調査」(各年10月1日現在の施設数)



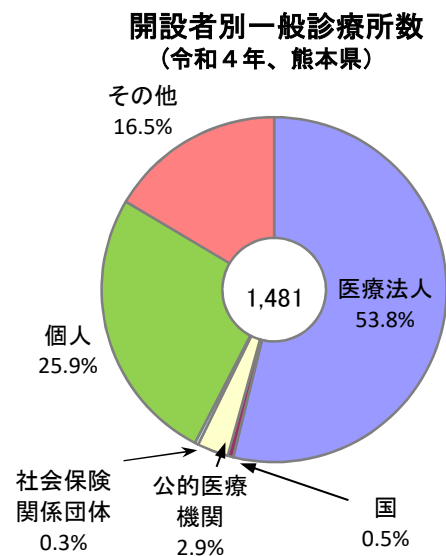
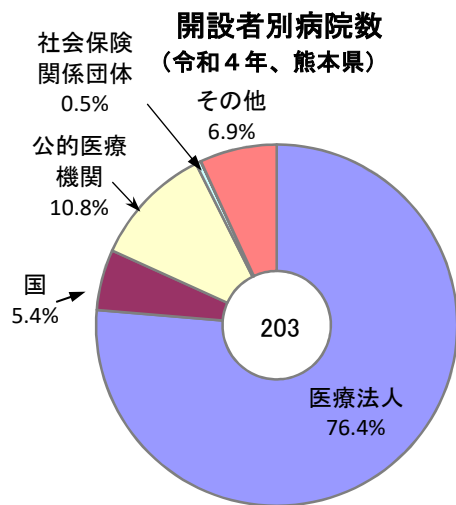
資料) 厚生労働省「医療施設調査」(各年10月1日現在の施設数)



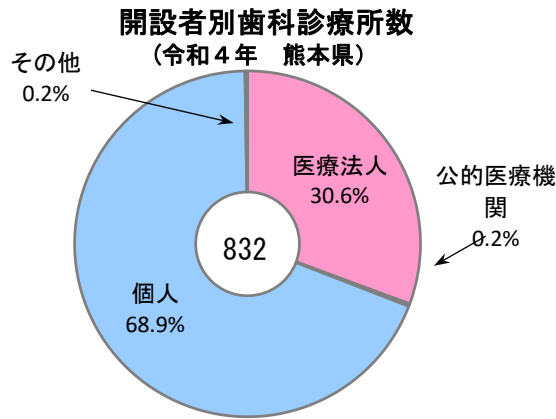
資料) 厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査」(各年10月1日現在の施設数)



資料) 厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査」(各年10月1日現在の施設数)



資料) 厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査」(10月1日現在)

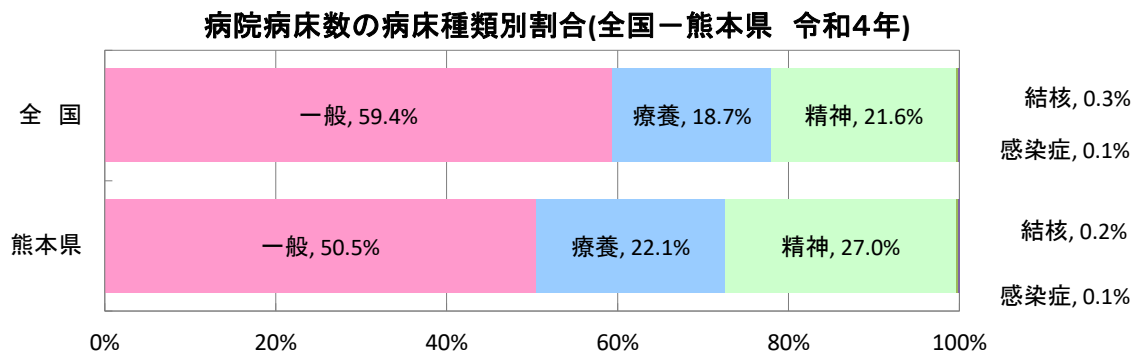
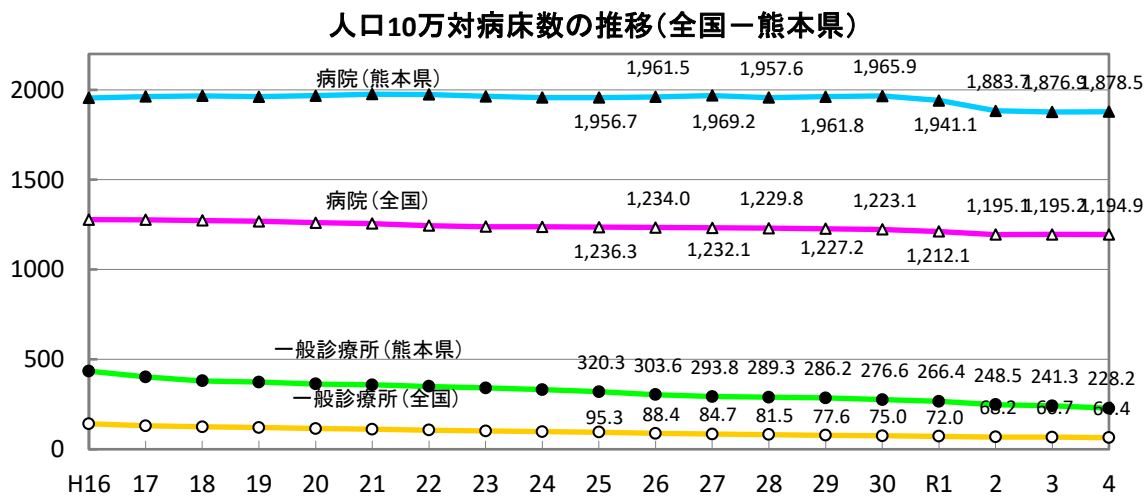


資料) 厚生労働省「医療施設（静態・動態）調査」（10月1日現在）

(2) 病院の病床数は増加、一般診療所の病床数は減少

令和4年10月1日現在の人口10万対病床数は、熊本県で病院が1,878.5床（精神病床 507.4床、感染症病床 2.6床、結核病床 4.4床、療養病床 415.8床、一般病床948.4床）、一般診療所が241.3床、歯科診療所が0床であった。

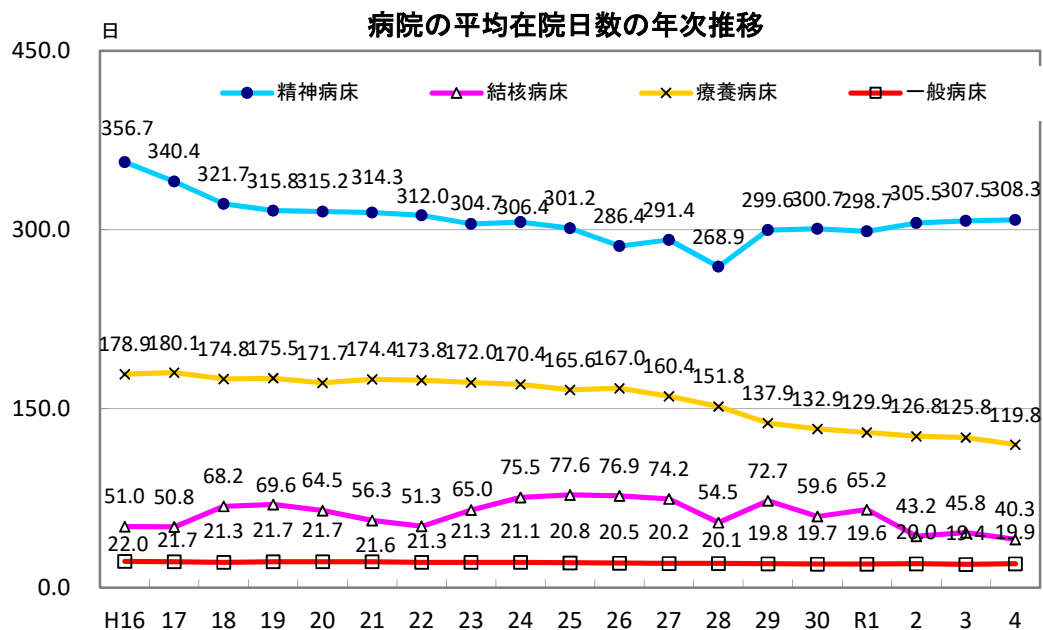
病床数は、病院で前年に比べ1.6床(人口10万対病床数)増加し、一般診療所においては前年より13.1床(人口10万対病床数)減少している。全国の病床数も減少傾向だが本県との差は大きく、依然として全国に比べて病床数は多い。



資料) 厚生労働省「医療施設（静態・動態）調査」（10月1日現在）

(3) 病院の平均在院日数は、精神・一般病床で増、療養・結核病床で減

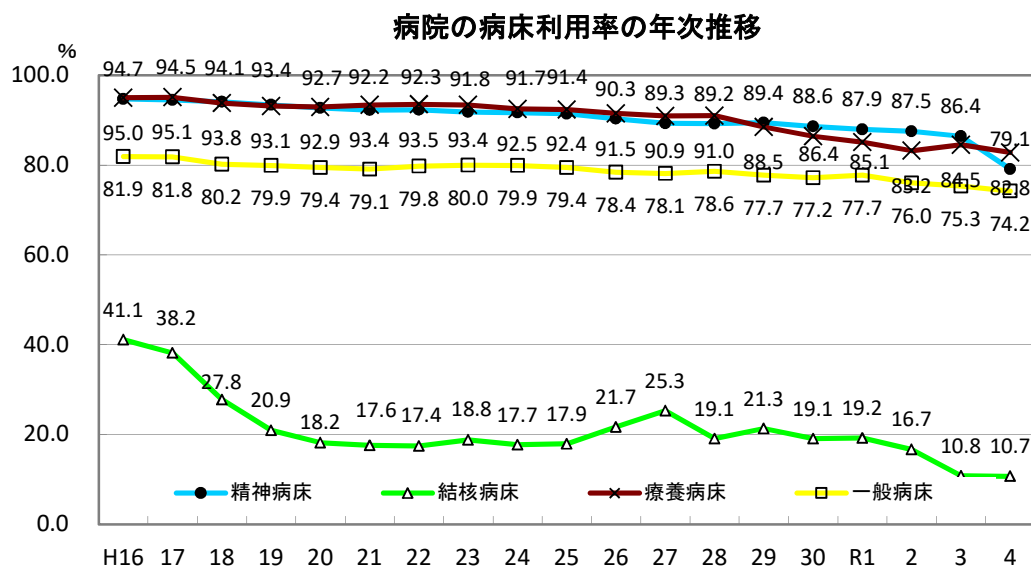
病院の平均在院日数の年次推移をみると、前年と比較して、精神病床で0.8日増加、結核病床で5.5日減少し、療養病床で6.0日減少、一般病床で0.5日増加している。



資料) 厚生労働省「病院報告」

(4) 各病床の病床利用率は、すべての病床で減少

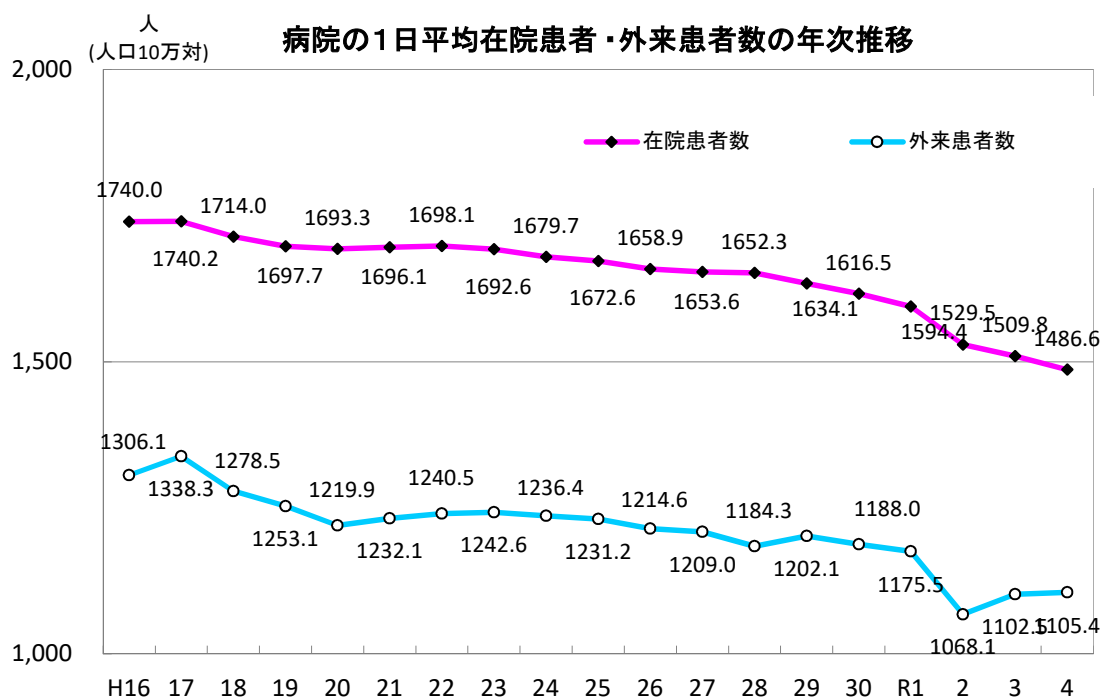
病院の病床利用率をみると、前年と比較して、精神病床で7.3ポイント減少、結核病床で0.1ポイント減少、療養病床で1.7ポイント減少、一般病床で1.1ポイント減少している。



資料) 厚生労働省「病院報告」

(5) 病院の1日平均在院患者数は減少、外来患者数は増加

病院における令和4年の人口10万対1日平均在院患者数は1,486.6人で、前年に比べ23.2人減少し、人口10万対1日平均外来患者数は、1,105.4人で、前年に比べ2.9人増加している。



資料) 厚生労働省「病院報告」